

日本クラシック音楽事業協会「心の復興音楽基金」助成事業
仲道郁代 音楽ワークショップ

【スケジュール】

2013年7月1日（月）多賀城市立多賀城八幡小学校 6年生対象

8:30~9:30 打合せ・準備

9:35~10:20 (2限) 6年生 (64人) 鑑賞型

10:40~11:25 (3限) 6年1組 (32人) 体験型

11:30~12:15 (4限) 6年2組 (32人) 体験型

片付け、振り返り会

面接

【ファシリテーター】

東北福祉大学コーラス部3名、宮城学院女子大学学芸学部音楽科2名、宮城教育大学大学院修士課程音楽教育専修2名、多賀の城文化事業協会4名、オフィス・ナカミチ1名 合計：12名

※前日に参加できる人たちで、打合せを1時間半程行った。

今回のファシリテーターは主催でもある多賀の城文化事業協会の佐藤氏によって、音楽系大学の学生さんたちを集めていただいた。また、学校とのやりとりも佐藤氏に調整していただいた。



今回のテーマ「言葉とリズム」

【鑑賞型】45分 2クラス合同

①ポロネーズのリズムを手拍子で打つ、ショパンについて説明

ショパン：英雄ポロネーズを演奏

⇒ポロネーズの音形が人に与える印象を感じてもらうと同時に、体験型でリズムを使うことの伏線。

②雨の音はどんな音がするか身体を使って音を出してみる。

歌川広重の「名所江戸百景 大はしあたけの夕立」、

「庄野（白雨）」を見る。この浮世絵から、あるフランスの作曲家が「雨の庭」という曲を作曲した。

ドビュッシー：雨の庭を演奏

⇒雨の音を色々出してみると、作品の中に自然の音、自然の風景を聴き取る。



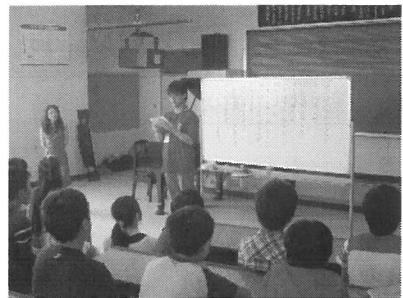
③子どもから自然の音のお題をもらい、ファシリテーターが即興で音を出す。徐々にファシリテーターが加わり、ジャムセッションのような音の楽しみ。

⇒音楽と自然の中の音の結びつき、表現の可能性を聞く。

④谷川俊太郎の詩「ぼく」の朗読を聞く。次に朗読に音楽をつけていく。(以下3曲)

愛の挨拶、軍隊ポロネーズ、別れの曲

⇒言葉の意味を想像する。音楽によって言葉の意味が変わって感じられるか。



⑤ブラームスが触発されたという詩を読んでから、

ブラームス：間奏曲 op117-1 を演奏

⇒詩から、ブラームスがどのような想いを込めて音楽を書いたのか。それぞれが想像しながら聴く。

⑥ドビュッシー：アナカプリの丘 を演奏

この曲からイメージする言葉を子どもたちに聞き、3つのキーワードを選ぶ。

「雪と星」、「おしゃべり」、「なめらか」体験型ではこの言葉を使って作品作り。

【体験型】45分 1クラスずつ

①輪になる

リーダーのもと、ボディパーカッションなどを行い、言葉とリズムの練習をする。

(ボディパーカッションでは、音楽の形の組み立てについても説明)

作品のテーマ（未来の多賀城）と行うことの説明を全員にする。その後2グループに分かれ、教室移動。

-----それぞれの教室で、下記の同じことを行う-----

②3つのキーワードを使って、作品作り

1. 全員で、全体のストーリー、音楽の組み立て、キーワードの順番などを考える

・ホワイトボードや黒板を使用してもよい

・ファシリテーターに音楽の仕組みの知識を持っておいてリードする

2. 3つのグループにキーワードを振り分け、1で作った流れを踏まえて、グループごとに簡単な音楽を作る（楽器使用）

3. 全体をつなげてみる。一つの作品となるよう練習。強弱、テーマに沿った音の工夫など音楽的な表現要素を取り入れ、試みる



※全員集合。

③それぞれのグループ発表。お互いに意見を言い合う。

④グループごとに改善点などを相談して、再度発表。

【面接】

11月に行われる七ヶ浜でのファシリテーターの公募で応募いただいた3名の方々に、まずは見学をしていただく。終了後に、グループ面接。

【振り返り】

- ・音楽室が固定の机・椅子だったため授業形式での鑑賞になってしまった。事前に音楽室の様子をリサーチが出来ていればよかった。よりフレキシブルな形態をとるのが望ましい。
- ・45分のWSの中での、テーマ設定が今回入り組みすぎた。もう少しシンプルに設定したほうが作業しやすかった。
- ・本来のファシリテーターが担う役割を伝えきれず行うと、ファシリテーターが先生のような立場になってしまい、生徒に教えるというスタンスになってしまう。ファシリテーターの人選・事前準備が重要課題である。

【助成対象経費報告】

一行5名（仲道郁代他4名）

移動費（東京～多賀城）：78,370円

（往復@21,800円×1名、往復@20,380円×1名、

復路のみ@14,390円×1名、復路のみ@10,900円×2名）

宿泊（ホテルキャッスルプラザ多賀城）：32,100円（@6,400円×4名、@6,500円×1名）

ピアノ調律経費：36,750円

合計：147,220円

